



## 調布三曲協会創立45周年を迎えて

調布三曲協会会長 渡辺 泰子

本日は調布三曲協会創立四十五周年記念演奏会にご来場下さいまして、誠にありがとうございます。調布三曲協会は昭和37年に故磯野茶山先生と故木藤きみ子先生のもとで発足致しました。4年後には調布市文化協会が誕生し、その一団体として加盟することにより、調布市の魅力や風格を高めようと、地域活動での輪を広げてまいりました。平成19年の現在、日本の伝統音楽は文部省に支えられ、財団法人伝統文化活性化国民協会の事業により、子供たちに着実に伝えられております。これから私達は一人一人がさらに研鑽を積み、日本音楽を次世代に引き継ぎ、また音楽の力で人の心を癒し、元気にし、まちが賑わうよう、積極的に文化の発展に努めてゆきたいと思っております。どうぞ皆様、今後とも調布三曲協会をご支援ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。最後になりましたが本日の為に御祝辞を頂きました調布市長・長友貴樹様、調布市文化協会会長・高岡宮子様、長沢勝俊作曲「子供の四季」合奏の指揮指導並びに御祝辞を頂きました日本音楽集団代表・田村拓男様、ご賛助いただきました打楽器奏者の望月太喜之丞様、有田怜香様、テノールの宮里直樹様、そして調布市布田小合唱クラブの皆様には厚く御礼申し上げます。



## 「創立45周年を祝して」

調布市長 長友貴樹

調布三曲協会が創立45周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協会は、調布市文化協会の創立よりさらに4年前の昭和37年に発足され、以来、長きに渡るご活動は、広く地域に着実に根を張り、調布市の文化の向上に大きく貢献されてきました。これまでの会員の皆様のためまぬ努力に心から敬意を表させていただきます。深く感謝申し上げます。

近年、インターネットや携帯電話等の情報通信技術の飛躍的な発展に伴い、生活の利便性が向上した反面、私たち現代人は常に膨大で目まぐるしい情報にさらされ、心にゆとりが持てなくなりました。このような社会状況の中で、箏・三絃・尺八を中心とする和楽器の響きを耳にする時、私たちは「日本人」としての感性を改めて自覚し、心の安らぎや郷愁に浸れる満ち足りた時を過ごすことができます。

今後とも、皆様には先人から受け継がれてきた日本の貴重な伝統文化である三曲を継承され、市民の皆様の耳を楽しませていただきますようお願い申し上げます。

調布三曲協会のご隆盛と会員の皆様の健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、お祝い言葉とさせていただきます。



## 「創立45周年を祝して」

調布市文化協会

会長 高岡 宮子

調布三曲協会が創立45周年を迎えられましたこと心よりお祝い申し上げます。

古（いにしえ）人の高尚な楽器「箏」、そして「三味線」「尺八」の合奏『三曲』は、日本独自の、また邦楽の最たるものとして貴重な存在であることは言うまでもありません。

昭和20年終戦後、世の中が落ち着きを取り戻した昭和37年、三曲それぞれの演奏・普及活動に止まらず、仲間が一同に集い調布三曲協会を設立され、さらにその四年後には調布文化協会の設立にもご尽力いただきました。

古来の曲を現代風にアレンジしたり、新たに作曲しての演奏を拝聴する度に、この音色を是非日本の若者に伝授してほしいと願いつつ、調布三曲協会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



## 「調布三曲協会45周年へのメッセージ」

指揮者 田村拓男

ドイツの哲学者・音楽理論家アドルノ（一九〇三〜一九六九）は、真に民族的な作品は同時に普遍的な作品である、といたしました。私たち日本人の先達は素晴らしい感性によつて箏や三味線、尺八、琵琶、笛や太鼓など日本独自の楽器を作り、そのための作品をたくさん造りました。それらは世界の人々にとって、西洋の楽器で聴く音楽より興味をひくものだとアドルノはいつているのです。

調布三曲協会のみなさんは、伝統を大切に守りながらも新しい音楽活動に取り組まれています。文化庁が推進する「伝統文化こども教室」に積極的に協力される方や施設などへのボランティア演奏活動をされている方、NPOの組織に加わっている方等等、その活動は全国的にみても際立っています。今日のプログラムもそれを物語るように、箏や尺八などを通して子どもたちや同じ地域で暮らす大人たちとの触れ合いを大切にするコンサートとなっています。私も今日の有意義なコンサートに参加できることを嬉しく光榮に存じます。

調布三曲協会が今後50年、60年とますます発展されますようお祈りしています。

（NPO 法人日本音楽集団代表、NPO 法人邦楽指導者ネットワーク21代表理事）

# 一、子供の四季

作曲 長 沢 勝 俊

『春 ひらいた ひらいた

夏 まつり

秋 かりかりわたれ

冬 うえみれば雪こ  
』

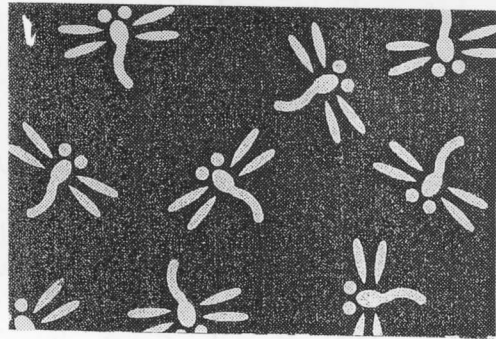
指揮 田 村 拓 男

第一箏 美 蔦 洋 子 松 田 孝 子

中 西 賀 代 子 阿 部 カヨ子

第二箏 渡 辺 泰 子 土 橋 由 美

後 藤 好 子 角 岡 暁 子 柴 田 裕 子  
井 坂 糸 子



十七絃	原田真樹子	駒井孝子	小林千恵子
三絃	村岡ふみ	中山淑子	田代せつ子
笛	佐藤弘幸		
尺八	横尾勝	三輪輝夫	門傳良男
	細山伶観	橋本洋	
打楽器	望月太喜之丞	門傳良男	有田怜香
テノール	宮里直樹		
合唱	調布市布田小合唱クラブ		

この曲は一九六六年、NHK委嘱作品として長沢勝俊氏が、子供の目を通して日本の四季を画いた作品です。

各季節の初めに、わらべ唄が入り、楽器がこれを受け、幻想風に展開していきます。

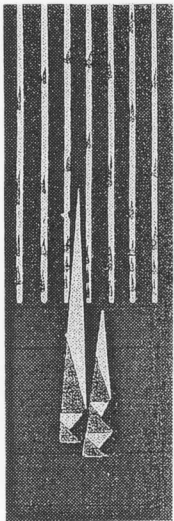
わらべ唄の中には、思わず目を見はるような新鮮な子供の目が光っているのを、みるこたがあります。この自然に対する素直な感動を大切にしたいという気持ちで作曲されました。

尺八二重奏曲  
二、郷音

作曲 水川寿也

尺八Ⅰ 佐藤弘幸 細山伶観 門傳良男  
尺八Ⅱ 橋本洋三 輪輝夫 横尾勝

尺八の五つの指孔を順番に開けるとDFGACの音が出ます。これ以外の音を出すには、メリ、カリ、といわれる奏法が必要で、初心者には難しくなります。今回はこの五つの音だけで曲にまとめてみました。陽旋法と呼ばれる日本の音階で出来上がっていますので、自然と曲想はほのぼのとした感じになります。五音↓ごおん↓ごうおん↓郷音のシャレだったのですが曲想にぴったりで、そのまま曲名になりました。



# 三、残月

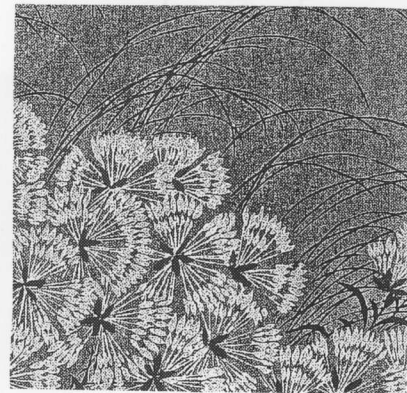
作曲 峰崎 勾当

作詞 不詳

箏 中西 賀代子

三絃 村岡 ふみ

尺八 佐藤 弘幸



江戸時代中期の末頃に、大阪で作曲された地歌の手事物です。作曲者は、「雪」「こすのと」「越後獅子」「東獅子」などの名曲の作曲で有名な峰崎勾当であり、その代表的な曲であるだけにではなく、地歌のなかでも名曲中の名曲に属する曲です。

内容は、月を主題とした曲ではなく、峰崎勾当の門人であった松屋某の娘が若くして亡くなったのを追善して作られたものです。その娘の法名が「残月信女」ざんげつしんによで、曲の題名はこれに由来するといわれ、歌詞の中の「真如」しんじよは「信女」にかけてた言葉であるといわれています。

原曲は地歌ですが、箏曲として、また三曲合奏としても演奏され、追善の曲の代表的なものでもあります。



三絃二重奏曲

# 四、春興

作曲 杵屋正邦

三絃Ⅰ

美 蔦 洋 子

松 田 孝 子

田 代 せつ子

三絃Ⅱ

中 山 淑 子

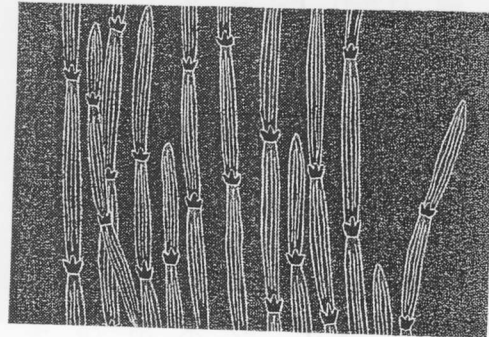
田 村 博 寿

角 岡 暁 子

長唄三味線の杵屋正邦氏は数多くの三味線合奏曲を作曲しました。

「春興」もその中のひとつで、Ⅰ・Ⅱともに本調子で作られた三絃二重奏曲です。今日は

長唄三味線と同じく平撥ひらぼち、平駒ひらこまで演奏いたします。



(午後三時二十分頃)

# 五、春の詩集

作曲 牧野 由多可

第一箏 原 田 眞樹子

第二箏 土 橋 由 美

十七絃 柴 田 裕 子

待ち望んでいた春のおとずれ

小川の水がキラキラと輝き、すべてがよみがえり

花開く季節、かぐわしい風の香りと晴れわたった春の日に

夢のような乙女たちが通りすぎてゆく……

曲は冒頭、春の到来を呼びかけるような一箏の独奏に始まり、これが序奏となってやがて二箏の分散和音の上に流れるようなメロディが主題となつて、様々な変化をとげ、自在に展開し、春の喜びと哀愁をうたつた詩曲です。



# 六、赤壁賦

作曲 中能島 欣一

箏 美 蔦 洋 子

田 村 博 寿

尺八 橋 本 洋

箏曲山田流の中能島欣一作品の「歌物」として最も親しまれている名曲で、一九三四年に作曲されました。尺八は全曲を通して活躍し、箏替手も効果的に入り合奏の妙味も楽しめます。

歌詞は、中国北宋の文人、蘇東坡（一〇三六～一一六一）の「赤壁賦」の原詩を松本一太が和文の詩に翻案したものです。揚子江の古戦場、赤壁に舟を浮かべ壮大な自然の風物を愉しみ、過ぎし時代の激しい戦を偲び酒くみかわす、天地の長久に比べ人の一生の儂さを嘆きながらも、自然に親しむ喜びを享受する、という詩です。



# 七、 箏四重奏曲

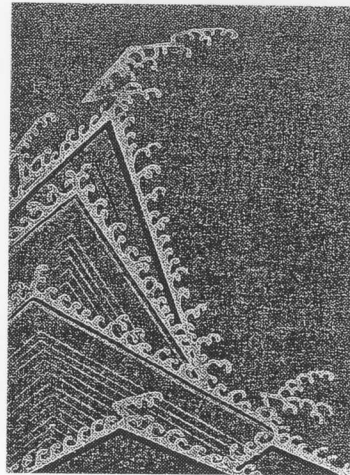
作曲 長 沢 勝 俊

第一箏	渡 辺 泰 子
第二箏	中 山 淑 子
第三箏	後 藤 好 子
十七絃	小 林 千 恵 子

箏三面と十七絃による四重奏曲で、曲は二つの楽章よりできており、一章は緩、二章は急という構成をとっています。

箏の調弦は古典に見られる五音音階ではなく、ディアトニック風な調弦により、さまざまな和音の変化に対応できるよう留意されています。

箏のもっている古典的な奏法は極力ひかえ、個による語りかけより四人の奏者による対話とダイナミックな変化に重点をおき、さらにオスティナートや変拍子を用いることにより、四重奏曲としての純器楽的表現に新しい息吹を与えようとしたものです。



# 八、都踊

作曲 宮城道雄

作詞 大和田建樹

箏高音

駒井孝子

角岡暁子

柴田裕子

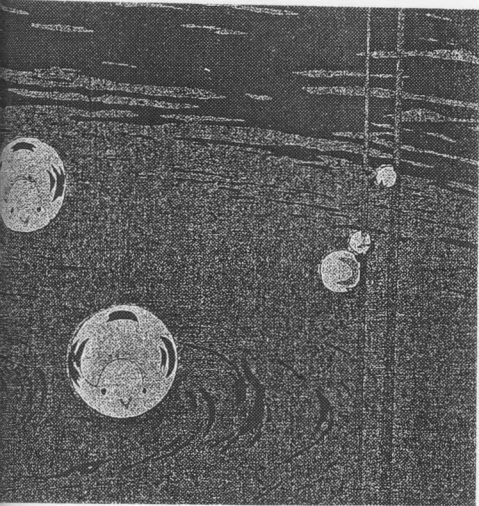
箏低音

阿部力子

井坂糸子

土橋由美

中西賀代子



歌詞

子供の四季

一、春 1 ひらいた ひらいた 何の花が ひらいた

れんげの花が ひらいた ひらいたと

おもったら いつの間にか つぼんだ

2 つぼんだ つぼんだ 何の花が つぼんだ

れんげの花が つぼんだ つぼんだと

おもったら いつの間にか ひらいた

二、夏 ヤーオ ワーエ ヨーイ ワエー

やーれ これはのせー

ヨーイサ ヨイサ ヨイサ ヨイサノサー

三、秋 かりかり渡れ 大きなかりは さきに

小さなかりはあとに なかよく 渡れ (三回)

四、冬 上みれば虫こ 中みれば綿こ 下みれば雪こ

(三回)

残月

磯邊いそべの松まつに葉は隠かくれて

沖おきの方かたへと入いる月つきの

光ひかりや夢ゆめの世よを早はやう

覺さめて真如しんによの明あきらけき

月つきの都みやこに住すむやらん

今いまは傳つてだにおぼろ夜よの

月つき日ひばかりは廻めぐり来きて

赤壁賦

月明らかに星稀に、南に飛ぶや鵲と、戟を横たへ歌ひけん。  
勝ちほこりたる英雄も時は移りて今いづこ、うき世に遠  
き身のかるく、一葉の船に月の夜を、酒汲みかはすおも  
しろや、消ゆれば夢か絲遊の、儂なき身をば天地に、容  
れて短かきいのちかな、流れもつきぬ長江の、月を肴に夜  
もすがら、酌む盃のかずかずや、缺けては盈ちつ、盈ちて  
は缺くる、笑ひつ泣きつ村雲の、晴るれば圓き月の顔、あゝ  
逝く水は日夜を捨てず、千秋萬古流れはつきず、愚かの迷  
ひ何をか淀まん。かの山間の明月と、かの江上の清風は、  
見れども飽かず。取れどもつきず。皎々として千里を照ら  
し、飄々として萬戸に入る。あらおもしろの風情かな、い  
ざ盃を酌みかはし、流るゝ水に舟を任せん、流るゝ水に舟  
を任せん。

都踊

大堰川 瀬々の紅葉か亀山の  
岩根の波か  
集まれば 散りて乱れて乱るれば  
また連なりて  
春風に舞うは蝶 夜嵐に散るは花  
花ならば まだ蕾なる 乙女子の  
いづれ色香の 姉か妹か

賛助出演

田村 拓男

望月 太喜之丞

有田 怜香

宮里 直樹

調布市布田小合唱クラブ

(合唱指導 嘉手納洋子)

問い合わせ

調布三曲協会事務局

美 蔦 洋 子

〒182-0024 調布市布田五―二―一三五

TEL 〇四二(四八八)〇七五〇

協力

印刷

天沼印刷

箏屋

宮城野楽器

司会

山口宮子



## 調布三曲協会会員教授所

### 【箏絃】

阿部カヨ子	〒182-0012	調布市深大寺東町 8-8-6	042 (485) 2883
井坂糸子	〒182-0022	調布市国領町 6-20-7	042 (483) 9225
角岡暁子	〒166-0003	杉並区高円寺南 1-6-24	03 (3314) 2301
上口房子	〒182-0005	調布市東つつじヶ丘 3-11-37	03 (3305) 5477
後藤好子	〒182-0024	調布市布田 1-45-6-606	042 (485) 8993
小林千恵子	〒192-0373	八王子市上柚木 1034-1-103	042 (679) 4920
駒井孝子	〒182-0011	調布市深大寺北町 1-2-2	042 (482) 8313
佐藤美穂	〒182-0022	調布市国領町 6-20-10	042 (481) 3291
佐藤吉和	〒157-0062	世田谷区南鳥山 5-12-11 宮本ビル 2D	03 (3308) 8105
佐藤義久	〒186-0005	国立市西 3-6-1	042 (576) 9386
柴田裕子	〒182-0014	調布市柴崎 2-4-1-911	042 (486) 6345
田代せつ子	〒182-0002	調布市仙川町 2-21-2	03 (3300) 5773
田村博寿	〒182-0035	調布市上石原 2-23-20-302	042 (484) 0159
土橋由美	〒182-0023	調布市染地 3-1-92- ト 9-202	042 (485) 6432
中西賀代子	〒182-0024	調布市布田 4-3-5-701	042 (482) 0900
中山淑子	〒192-0354	八王子市松が谷 50-1-206	042 (674) 1342
原田眞樹子	〒182-0026	調布市小島町 2-54-4-LP801	042 (485) 3379
松田孝子	〒182-0017	調布市深大寺元町 4-35-1-2-107	042 (483) 2379
松本愛子	〒197-0022	福生市本町 36 フェリース福生 201	042 (551) 3896
美蔦洋子	〒182-0024	調布市布田 5-21-35	042 (488) 0750
村岡ふみ	〒182-0024	調布市布田 2-7-4 調布ハイツ 201号	042 (482) 1241
吉川和博	〒182-0006	調布市西つつじヶ丘 4-36-4	042 (483) 3369
渡辺泰子	〒201-0003	狛江市泉本町 1-3-5 ヒルズ狛江 104	03 (3480) 0845
	〒182-0023	調布市染地 3-1-890	042 (486) 5176

### 【尺八】

佐藤弘幸	〒215-0023	川崎市麻生区片平 4-24-8	044 (989) 0758
橋本竹咏	〒193-0833	八王子市めじろ台 4-29-8	042 (666) 0338
橋本洋	〒182-0034	調布市下石原 3-71-11-401	042 (486) 7715
細山伶観	〒167-0053	杉並区西荻南 2-18-17-502	03 (5934) 7822
三輪輝夫	〒182-0034	調布市下石原 3-36-4	042 (488) 3331
門傳良男	〒182-0025	調布市多摩川 7-34-9	042 (486) 4472
横尾勝	〒182-0012	調布市深大寺東町 4-26-31	042 (486) 2009